光度となく言つ

一て三千六百十萬一千 五百五十六萬四千

我國には影響無

大蔵、日銀、正金の意見一

致

近 ケートな関係を示すものと後 の高騰と對支貿易は相當デリ

ものと後

變直後暫宝的に設けたものでてゐるやらに現在の機構は事

あるから満洲國の現狀が安定

「現在の三位一体制は暫定的 であるから永久に續く

其他の點から日

1漏行郵

由近く

日午後職相官邸に正金銀行の 見玉、大久保正副頭取、日銀 の土方、突井正副題数を招致 し、大職省特別銀行首腦部懇 談會を開催し、米國今回の銀 関有實施に關聯して米國內に 於ける經濟界の動き、國際的

との結論に達した との結論に達した

七月

滿洲國其他貿易

從來に比

し三分の

依る影響の爲外國の資本き事及ひ爲替相場の變動

預金部資金へ農村及中小工業

白萬圓崛通

民國及ひ香港貿易概算左の如月中對滿洲國、關東州、中華

**し一層助力を與へる標在滿機** 具他の點から日本が同國に對

るは常然である」

事態の推移により之に適應せ設が完備し日満間の政治經濟と強力となり各般の施設体が複雑化して来た今日の政治經濟

進めつゝある拉賓線も感よれ ・ はれてゐるが目下建設工事を されてゐるが目下建設工事を されてゐるが目下建設工事を

1トは満洲域迄延長され従来 関物は敦賀より清津経由で輸 がられてある、之が實現の時 は従来の下關経由に比し三分 の一に短縮されることとなり

誘致の目的を達成するに多 るといふ結果を灭し、外資は國幣に依る投資を躊躇す

を除去する爲めに先づ實際 大の支障を來したのである

右の支障

イ東京國通) 農林省資表 - 農村及中小工業關係預金部資金 中農林關係の分は룙に劇當て たが、今回更に農林、商工の たが、今回更に農林、商工の

田西四〇

満洲に於て事業を行

と改變の要を說いてゐる、要つれ改革の餘地は充分ある」で見在の機構も時の變遷に更に又拓相兼任の岡田首相

を機會に敦賀北鮮間の郵便ルーな機会に敦賀北鮮間の郵便ルースを機会に対してあるが、之一の

る事は赏然だ」

たのだといふ點では各方の暫定的機構を平常的機構を平常的機

會社資本

外國貨建許可は外資を誘

のみを目的とする外岡會社別に此の會社に對する投資

融通した

高橋總務司長語

3

國の銀國有は國際的にも我國 に就いて檢討したが、結局米 に就いて檢討したが、結局米 に就いて檢討したが、結局米

の出超額は九千八百七十六萬なつてゐる、而して一月以降六千圓(三朝五分)の増加と

以て定むる事を

を見た、即ち上海に於ける影であると云ふ事に意見の一致にとりても差當り影響は輕微

谷参事官が現地案を携行し 谷参事官が現地案を携行し

音社資本金の外國貨幣建許可 につき高橋實業部總務司長は 左の如く語る

處が谷參事官は別に成文化

會社の資本は我國の通貨を我國内に於て設立せらるる

であるが之は韓國後日尚淺のあるが之は韓國後日尚淺の本ければならぬ事となるのなければならぬ事となるのなければならぬ事となるのない。

H

支

た大豆が、驚くなかれ實に百 北端の一帶から新京に運ばれ 北端の一帶から新京に運ばれ

あらう好况時代であつたべし、新京には再ひ來ないで

安い食堂の一番中国の出産が加である、七月輸出貿易の地方別左

隠はれますと、

つひ、腹が立つて

こく云つたからです、階して下さ

育年は、はつとしながら

急角度の不况

ら問ひませ

これから、そんな と自覚したら、数

つてあたんですよ

て結ない異似

はお止しなさい

れませんかし

はいし

いて林陸相や現地の權威谷をふも過言ではない、それにつは今や必然的運命にあるとい

(日)日九十月八

競行所

新京日日新聞社

7 7 7

水松十越,河 內本河

之,京

制度 定水 全台 價級

同 - ケケ 行用力

平格的折衝に入る 滿機關改革問題

在橋機構改革の必要性につれては軍部も外務も拓務も又現地出光機関も更に又何等設合の満洲國側でも之を認めてある、即ち三位一体制の改革 諸問題を押除け忽如注視の的 譯ではない、勿論谷夢事官はされた現地案を携へて行つた

現地各方面の意見は知り盡す 程悉知してゐる、又運用上の 工程悉知してゐる、又運用上の 工程悉知してゐる、だからそ 祖 ( 體驗してゐる、だからそ の胸中には成文化されたも同 あらうし、間はれゝばサラサ か あらうし、間はれゝば中 あ か あ か あ か あ か あ か らうし、間にな 本 か の に あ る 立場にあるから今後の 折面 る こ 個 るに客でないと陸相が自稱して名案があればそれを探響するに客でないと陸相が自稱した。 「国部作成の参考案である、他 事部作成の参考案である、他 事部作成の参考案である、他 本名案があればそれを探響する。 に名案があればそれを探響する。

は、東京製通」日銀總會は十八日午後二時より日銀本店で開 は、塚崎理事の後任候補に川田龍吉氏が當選した、倚ほ同 の席上で報告された日銀の純益 金は前期に比し千九百七十四 **専へられるものを列示しよう** 左に闘係三省の原案として 三千六百餘萬圓

本格的折衝に乗り出さんと なる通りの参考案である、 を考案に對する意見を軍部に 通達しまたそれぞれの見地に 立つ改革案を作成し、いよい ないまから、 ないまから、 ないまから、 ないまから、 ないまから、 ないまから、 ないまいる。 との、 ないまから、 ないまがら、 ないまから、 ないまないら、 ないまから、 ないまがら、 ないまがら

を目的とする一般の會社は を目的とする一般の會社は を目的とする一般の會社は を目的とする一般の會社は 便を一掃する爲め今般關係 るの目的を達成するには依然として不便があつたので 然として不便があつたので ある、依て此の間の不利不 ある、依で此の間の不利不

を要するの不便があつて外 を必要とし、爲めに事業 動を必要とし、爲めに事業 以て定め得るの

ちます。 場裡に雄飛するべい。 お本に非ざるべい。 ことを得、我産業資源の開いたのであつて右の勅令並いたのであつて右の勅令並いたのであつて右の勅令並いたのであつて右の勅令並いたのであつて右の勅令並いたのであつて右の勅令並 し且つ現在投資額最も多め先づ以て我滿洲國を恐め先づ以て我滿洲國を恐 業國家として國際經濟競爭

してしまつた。

めるなんて、倒し 高になってわめい

「いや、この女があんまりしつ」「え、松葉町・こ か、一こんな

以て其資本を定むる場合におの助令第二項の規定に基合資會社が日本國貨幣を及合資會社が日本國貨幣を 一株 | 回拂込の金額、笠 第一 金額 五

すとか、いきなり自分に、物凍く 対人が、いきなり自分に、物凍く 打突つてくるものと信じてゐたが その態度を見る

傾向を呼たれた んかなくなつて 領ない問題だつ という い青年だったの

と、急に息がけか

いやと云ふほど、 たので、瞬節心な CD 品物だつたからもの

電報は、見上 非常に限つてゐるものですから しませんかし なくともっ

「いう、別に、際に、あやまら

思ひますよ。お宅は、遠方なんで、冷却せんと、疑点が散らばらんと 養無くなつてる 冷が何かで、 「さうですか、成壁、灯べたが える。ほんの一 下宿鄉調號

い」ものか、迷ったが。 娘は、その返答に、何く答へて 「いえ、やはり浅草の松薬町で 及事 店務 舗所 會 吉野町吉野稲内新京支部 混造大連速配研究

向貸家アリ

電話增設第二七二四八五

本橋

通

姓名在社

内弟子入用

一聚畫伯後接會 豐五八四五 名に開放したし 姓名在社 性名在社

希望者は至急本人來談あれ

三笠

町三丁目

電話 夏度し 日本帰通六二十善洋行

あんま 日本橋通中家内第至急副伺ひ致します 

湖治療所 御参考に瞬前の

おみやげ店に…

是非御越し下さい!!

滿

P

げ

新満社

析尾新聞鋪 難聽販賣開始 朝日社 朝日社 朝日新聞 東二條通廿一

店廣

よかつたですの間は機能所まで熱 

萬年筆

修販理売

頃にサービスさして載く 破損故障の修理は僅な修理費で完全に

専門の店」

あれこれとインチキ商品に専門店が生れました

迷はされず



お深りしますから、僕を築内して 一人は、それから無国のま」一 「い」え、頂ぐそこでござい 一」娘は、胸暗ったが 三麦素

御用命は!!

電話

信用と責任を重んずる

「松葉町のどの繰りでござい 電三四三八番

**派管品安** 具地大店本

武木時こたあ
カは日のがつ

軍を組織し、糧食を準備するでも家財消具の荷造りをして、大連に逃れて男子のみは業勇力を発展の貨物ホームに持ち出った。

としては警察以外にはなにも のもなかつたのである、六日 の多刻機關銃をもつた日本の をしたことによつてみて も、常時満洲に居留してゐた に足らぬ僅の間に、日本の各 に足らぬ僅の間に、日本の各 に足らぬ僅の間に、日本の各 に足らぬ僅の間に、日本の各 に足らぬ僅の間に、日本の各 は驚襲に價するものであると は驚いかくも完備されたこと

黄金の雨を降らせた、これ

すがにその名を辱しめずこのであるから、豆の都薪京もさ事用縁路までも引きこんだ程

の秋運賃の割戻をして直接 これを鐵路大連にひいた、從 つて新京に集るものとのみ信 じてはかない夢に醉ふてゐた 特産商は補鐵のために見事背 負投げを喰はされ特斎商は勿

錦州工場操業

憎かつたもの

じます。あんまり口

「そころに

問題物が、散らかつ

ませんかー

一大へないんですが、東屋といふれて、 5つかり他人に

人から、一寸順まれた用性があり

人をたづれて行くんです。その

待機の姿勢をとり、かつてな 軍を組織し、糧食を準備する 軍を組織し、糧食を準備する

新京に押しよせたためであるれてゐる北浦の農産物が全部れてゐる北浦の農産物が全部

に七百に近い空家を生ずるにには夜逃げ、閉店で新京市中

7

博多屋

反動に普通の商人にも倒産者

月着工したが、九月破工の選 に本店率天)の錦州工場は六 (本店率天)の錦州工場は六

たい ないではあり

単値が整へられた、幸ひ同五 単値が整へられた、幸ひ同五

事態はいよいよ急迫し日支の留民動揺 過硬な態度

は約四千人でこれが保護機關時新京における日本の居留民

でも收容しきれないため、

火葬場、共同墓地の空地から火葬場に至る線路兩側の空地 八萬噸、貨物驛構内は勿論、

大正八年から九年の上半期にかけて、思はぬ好況に惠まれた粉京も同年の下期には急角度の反動をうけ、入荷特産物は十五萬順に激減した、當時は十五萬順に激減した、當時

でなと、 瞬

やなさい! 師免なさい! 一般を見て立去った。

自動車で盛りませらか」 微かにうなづいた。

焼さんー

星状はありません

が、蒲蠘はこれを奪ふためこ

百余年の歴史を辿りて

三日ごろから全議の居留民は一番態はいよいよ急迫し日支の事態はいよいよ急迫し日支の

續々と洲内に引きあげ、新京

施術ニ從事相當ノ効果ファラワシテ居ル一度來タック施術ヲ 受ラレ再生ノ幸福ヲ得ラレヨ 加定難ノ爲メ永年御困リノ方ハ當療法

年齢十五才以上の日本人三名市内に確實なる保證人二名 西山萬年筆馬店 表具師大室交仙堂 すし竹食堂 ダイや街(ダイヤビル) 電話二〇六一番 五六〇九番 が賣店

満 値の安い 品がよい

P

東亞 (美国軍)

四路 医太郎 雪 の天地

咎める脚子ではなかつたが・ てえる一般く答えた 外人が終っ

思うこざいました私、家が、 **活多忙至急募集東華看經婦** 看護婦附添婦 丁目六歳五七〇五番 店とは何等陽保無之候
右之者今般都合に依り七月三十一日限解履致候間爾今郭

朝日通八十一(普通學校前)× 編家政婦を求む

解雇廣告

元外交員 森本

榮(十五歲)

京

| 頭 | 前 | 前 | 前 |

新京吉野町二丁

電話 本語 二八四二番

於內鮮滿各地出品共同主催第二回全鮮寡子品評會 一等入賞名譽金牌授領

新京東二條通

清店

料 軷 揭

日条人

特計一世界無比の景養

出外中:豫備會商の經過を觀告の時期に關し岡田首相、廣東京國通」華府條約廢棄通 持して居るが、大角海相はた後で差支無しとの自重論

機を

なみに揉んで物別れ

態の跡を辿る

遷延一年二ヶ月を顧れば啞然

大角海相は職を賭しても強備 會商動際薬通告を決行せんと の重大決意を持して居るので 海軍は岡田、廣田兩相支持の

後案を滿洲國側丁公使ソ聯側の考慮を求め同

決裂でな

の誠意を疑ふ

歸滿の大橋代

表船中談

かどうか静か

一之に對し互讓的態度を示し此 の分ならば……と會議は稍々 が動力の譲歩の代償として滿 一一の調歩を示したのみ再い張 で立至つた、交渉はかりの譲歩の代償として滿 一回調管商を申納するのやむなき に立至つた、交渉はれ遅延しつ 本六月に入つた、廿八日ユ大 使は本國の訓令を携へて廣田 外相を訪問北鐵交渉の進歩面 がりのではかりのである。 本六月に入つた、十八日ユ大

滿ソ 兩國共最初の案より相當中間會商の再開を要望したがた、之に對し廣田外相は直接 られたしと述べ新提案をなし体案を提出せしむる線態通せ体案を提出せしむる線態通せる具体を対しませい。 こものがあり交渉の前冷し雨者の歩み寄りの跡に で闘滿した港外まで出迎へた「ばいかる丸」で約一年振り **督辦公署參養烏澤摩** 

に於て我方は終始誠 月に亘る北鬱譲

然たるものがな

譲步し

京

抹の

が漸く濃厚となり俄然色めき 立つて愛に四月二十七日七ケ 直で滿洲國側からも相當思ひ でで、此の第一次中間會 で下、此の第一次中間會 で下、此の第一次中間會 で下、此の第一次中間會

本の國際危機に をまで、かなりうざ とまで、かなりうざ

る一つの方便だる。 へも傳はるに至つた、之に加いた。 大とまで、かなりらがつた説さいたがける從業員の不穏事件並に滿洲國側に於ける從業員の拘禁事件等に所引を引きる。 一般多の悪材料が山積し全く悲いからがつた説さいます。 でき状態に陥り、デットのでき状態に陥り、デットのでき状態に陥り、デットのでき状態に陥り、デットのできます。

日

書の酸表を行ひ一大センセーの北銭占領計畫なの秘密怪女本によつて計畫されたと継ず本によって計畫されたと継ず

な且つ大局を誤るソ聯側の能抗議をなしたが、此の無誠意府は直にモスクワ政府に嚴重府は直にモスクワ政府に嚴重が、此の無誠意となったが、此の無対のをという。

ひ交渉開始

吉敦線泥鰍溝で秘密會議

一、 與凱湖の赤衛軍司令官朴 、 ソ聯極東軍司令部所屬鮮 人赤工隊と連絡を取ること

穩團体

地議交渉はどらなるのか?と の大きな疑問を投げ與へた儘 られてゐたが、本年二月二十 四日滿洲國政府は拘禁中のソ

に京城関通」當地某所に達した情報によれば去る十四日朴一一四名の在滿不穩顯体各代表は吉敦線蛟河の東北五里、朝鮮人部落泥鰍溝に秘密聯合會議を閉き左の如き驚くべき事項を決議した

関の客観的情勢は頓に交渉再開に有利となつたので、ユレーニエフ大吏をピート

入使は 廣田外相を 訪問 利となったので、 ユレ

非常なデ

第で向ふ側に誠意ありや無本件の解决はソ聯側の肚才を意味することではない、を意味することではない、な意味することではない、 である、會議は決してされないので歸つて來たし 决わ仕踏意

助を求むること 容南の許に代表者を派し楊 容南の許に代表者を派し楊

外務並に陸軍兩省試案に於て外務並に陸軍兩省試案に於て 桑島東亞局長と

曜

第二次五

日本の行動を牽制し、此遷延に依つて北滿に於け

一、同志の日本軍に油一、原勘の日本軍に油

的策

**(B** 

二位一体制度の駐補全權大使日本との不可分の關係に鑑み 於ける特殊なる任務を負擔す外交機關に開しては滿州國に

農林省は反對

事はアリゾナ州知事に對し邦は政治的に利用される惧れなは政治的に利用される惧れな知。

國策的統一を期す

交渉停頓で

排日運動 アリゾナ 州で

取締を要求

日より、 一 ( 蒙古語にて副官の義) 各々 一 ( 蒙古語にて副官の義) 各々 つた、大で依和其( 布西城 を の で の も 関 る 十五年强制手段を以て雅 正今あ元

表接近を 三日中に 変 と第二回會合を行ひ協をみて來たが、更に兩をみて來たが、更に兩

共に之れを監督して採金に當前の如き 観伐放火を酸戒する 前の如き 観伐放火を酸戒する と共に、樹木の種子を取寄せ 植樹を行ふ目論見がある 付漁業に於ては魚類保護政策 をとり小魚、幼魚を放流して をとり小魚、幼魚を放流して で、文字通り北海の寶庫たる

指導に當らしめ、漸次を線各縣に農業指導員を施 社(滿洲國法人)の成立と

皇軍將兵の活動で

治安確保された北満概况

(五)

州國の獨立國たる事に鑑み、

『ロスアンゼルス十七日發國 通』アリゾナ州フエニックス 附近の米人農夫二百餘名は日 本人排斥運動を起し、來る二 十五日と期限を限つて日本人

その他は議事項は十數項目に 直つてゐるが満洲國の治安維 持工作整備に伴つて彼等不穩 の一味は漸次手も足も出なく の一味は漸次手も足も出なく を擧げたのに過ぎないと見ら

の推定)を最大のものとする 一帶に於ける淡水魚の收穫は 年産約三百萬圓と云はれ、之 年産約三百萬圓と云はれ、之 れ亦北滿名物として吾等の味 でであるの、將來邦人の進出

でに非ずと期待され 上品として海外輸出 上記として海外輸出

三、興安東、南分

により加工品として海外輸出の日も遠きに非ずと期待されるのである。
其の他工業方面に於ては製粉であるも概ね家内的の小規模經營に過ぎない。

省一般狀况 ◆興安東分省の概况◆ 本分省は西北境は大興安嶺を 本分省は西北境は大興安嶺を が理山脈を以て黒龍汀省に

産業は農業を第一とし

赤田局長

意見交換

永田軍務局長は十八日午後二

v

ヤ

ム米禁輸緩和案

に對し左の如き意向を有して (東京國通)農林省では外務

件によつては考へられるが 外によつては考へられるが シャム米輸入は八十萬石の 強少であり實質的影響は無 なつたばかりである此際禁 止緩和策は反對である

附領事

ノ條約を締結せんとし、此の

ソ聯又復デマるか

図 エート側では九月の聯盟理事 されてゐる 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に關し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に關し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に關し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に關し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に関し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に関し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北鐵菱形は停頓 件に関し日本政府の陰謀ある 代東京國通」北 外務當局嚴重監視

「承徳戦通」 信ずべき 抑留さる ▲ 佐藤中將(第○○○○ 本西垣少將(豫備役)十八 一年後一時勢四平街へ 年後十時勢四平街へ

渡日して以来此の交渉に當った自分は紛争を避けて間った自分は紛争を避けて間った自分は紛争を避けて間った自分は紛争を避けて間にで、後は只天意あるたが遺憾だ、後は只天意あるために盡し度いと思ふ、それのに盡し度いと思ふ、それのに盡し度いと思ふ、それのに盡し度いと思ふ、それのに盡して向ふが折れて出て来る 一满機構改革問

題

衝

開始

新開墾で増收か 避難民歸農と

議を進める意向である 外務兩省意見漸次接近

小菅刑務所に收監した小菅刑務所に收監した 太刀洗黑岩中尉

(大村國通)太刀洗飛行聯隊 第三中隊の黒岩中尉は午前九 時頃大村灣上空で職闘機操縦 墜落溺死 Ø 日

オーストリアを中にはさんで 相手はお互に申分ないはず 

北鍛交渉からかへる、滿州國 計畵あり、實現は早きに如か計畵あり、實現は早きに如か

川砂販賣 多少二不拘御用命被

を意味するものではない

事往來

\*下度候

【吉林國通】今春播種期以降 下、隨つて秋の作物收穫が大いに憂慮されて居るが吉林總 内各縣鮮農水田の被害は收穫 内各縣鮮農水田の被害は收穫 不能地は意外に少く總体的秋の收穫強想高は寧ろ例年よりの贈農による前年末の農耕地 を示して居る、これは地方治安の回復に伴ふ避難鮮人の贈農による前年末の農耕地

露披御店開

目課業營 お安く正價主義にて!!

ら何卒御買上に別として一應御來店の程御願申 **吃度皆様に御氣に召す** 

特に洋服及び毛皮は御好に應じ 調製致します

新京祝町三丁目

七月二十三日ユレニエフ大使中正公平な最後案を練り上げ中正公平な最後案を練り上げ 田外相の仲介案

示せる提案を
臓政府の回答

大使館に

格無運あり有吉公使は大使の大使館を設置し他の國にも昇

報に依れば新麗省に於ける敗

○瞬司令官)十九日午前七時 一時三十分發新站へ 時三十分發新站へ 時三十分發新站へ 時三十分發新站へ

地位にあり氣運熟したので近

し要求にも頭として順じない 人として取扱ひ支那側の引渡

展出外相よりソ聯に提示せられた買收代償等に對する 日本政府仲介案の通報があったが満洲國政府としては 右外務大臣案を應諾するは 相當の負擔ではあるが、日 相當の負擔ではあるが、日 相當の負擔ではあるが、日 門に請訓した、具 受賞なりと固執 面に はかり度いと、 にすがり度いと、 練氣たつぶりのと 横気たつぶりのと のまいでは如何 のまいでは如何 のまいでは如何 のまいでは如何

田外相の斡旋

昇格を計畫

で が列機との均衡上實現を延 が列機との均衡上實現を延 が交 機化のため 公使館の大使 の 水酸を経 の 水酸を終 の 水酸を終 の 水酸を終

く正式準備に着手の意响有力 を事官を設置し機能の擴大を 計畫して居る

本年度の歳入増加

安協點發見困難 (パタピア十七日酸國通) 未 [パタピア十七日酸國通] 未

期待は困難

大藏省嚴重斧鉞を加

技師、巓印側はホーフスト

**応、脳印側は未晒綿** 

即十時美術協會階上で開催、

山中顧問、根岸

關官民合同協議會は午

岡り財政の常道復歸を岡る 必要があり國債の信用を保持するため赤字公債を昨年 以上に増加させるは避けね ばならぬ 一、五分利公債借替に依る支 出滅も本度内に断行する事 は財界の現狀より考慮を要 するから歳入増加の期待は

呰様の薬局

みにもんだ北 **心を傳達、十四** 気長は外相を訪

は第三者たるに観たい、滿 【東京國通】十年度豫算各省 要求概算書は本月中に提出さるべき陸軍關係の滿洲事件費 るべき陸軍關係の滿洲事件費 資材整備費、兵備改籌費、航 空歐充實費、計三億餘圓と內 務關係の北海道拓殖費其他を 除き全部提出濟みだが、新規 除き全部提出濟みだが、新規 以来は九年度頭初の要求額に 比し多少減少し大體十二億乃 至十三億間になる模様である が、たぐ十年度豫算基準額は 低定經費の增大により約二億 個の増加を見て居るので獲算 個の増加を見て居るので獲算 如き歳入關係より

する豫定である 方に有るべき

「はと」で北上

一、赤字公債は極力其減少を「する事になつた」の場合に十年度に於ける質」事に决定を見、中野正剛氏も 此の機會に正式に

れざるを得ない立場にある、觀て之に嚴重方針で斧鉞を入 【東京國通】遞信省從業員は 三組合 に加入する

であらら、 若

れを認める

渉决裂を聲明

突裂を摩明した 切したならば總 っている。

ての責任は決

は無意味とならんとして居るの形勢でオランダ綿布の割當の形勢でオランダ綿布の割當 入量は七月迄に二千五百

を述べ妥協困難を感ぜしめた間印側は焦層の急を説き不満に関し、日本側は自 吉林省鮮農

菅沼タイプライター

酸 賢 元 書 應 笹

收穫豫想

屋商 電影四九七九 會 \*\* 店

八月十六日より

品を取揃へ開店

致しましたか

電話二九四八番

新京吉野町 或 旅

▷急至◁

履歴書持参來談あれ

女中數名入用

話

設

案

主人用 五五八八五

帳場用

期期時教 資調 間日間材格 一期 初學者 一期 物學者 一期 簡易支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇 一期 支那語會話教科賽、急就篇

主 H 研究員募集

天昌洋行自轉車店

介紹先 永榮町三丁目十六番 货事務所向

滿洲

等一等目拔場所 新郷大小貨室、賄付、4 新築貨部屋 通の外交

つて一萬町歩にこれを栽培せ更に來年度では二百萬斤を送 官民協議會開催 對蘭印輸組設立迄の取締に

この カル月一日新潟より満洲現地 関及ひ種牡四十頭を購入し來 である一方綱羊協



たなった。まだ、本のいふところまでは行 いっ 十時までには、 一般の かっのを いつて 変 から、入谷 米たやうに であつ

被率





命 鑑





界有数の大航空郵送會社た 大西洋横斷飛行 甲板を思ひ切り廣くして飛行と同時に第二の着陸用船シュリーブランド號の 銀造に着手する 旨 設表した、北新造浮島は 550 年 100 日本 1 没つて行って強ってか 選つて行って強ってか 関い、 と川郡二君が 関い、 と川郡二君が 関い、 と川郡二君が をいるが をいるが

新案浮島

新京鐵路局八月上旬 貨物輸送狀况 (-) のです。八谷の棚配と な観で

物職送旬况(八月上旬分 輸出好 といる答えて

貸間

關係者の努力空しからず月央害に依る不通箇所は前旬以來良好なりしも京岡線内一部水 たる多託制限に依り出貨は参及は哈爾濱方面行貨物は依然 13

兩協會の事業進捗

電話師

に示せば大

往宅診診 随時 午前八時より二時まで 吉野町一丁目十一番地 事になりましたから何本宜敷御順申上度く方ならぬ御厚情御引立に預り厚く御醴申上げます今と御喜ひ申上げます

佐藤

减價賣 出

行

新鮮·偏良 **内外第一品** 

つ學家大科児小

平格的折衝に入る 滿機關改革問

省 事務總長を置き外事部、警権をも有せしむ、大使舘に新設の関東州知事の監督

日満兩國の衆智

諸問題を押除け忽如注視の的 軍には單に若干の經濟顧問題に強刑國に滿州國に設けら職と別個に滿州國に設けら職と別個に滿州國に設けられ、れる企劃局に吸收せられ、

(E) 争に利用されて居る為アメリ 通】アリゾナの排日騒ぎは政 排日運動

代は概ね現狀のまへとすれ、拓称省の厳止は主張しないが、右の結果當然満洲國に對する拓称省從來の權収を排除す(拓新省從來の權収を非除す(拓新省)

水越内 之介 

果亞の天地 

い路大口まで 戦の歌田

定案等何處にもない 東する如く観で居るが、軍部 として一、二の特殊方面に對 する増税を要求する事は考へ られるが、積極的に増税斷行 要求の意志は無いので結局公 諸國內對策 陸軍側の研究 大体終る

條約廢棄即行論

北鐵東部線に於ける列車爆破 事件の犯人赤系露人は目下滿 所國の嚴然たる司法權の發動 たなつて嚴重取調中であるが 石の結果有罪の一味は國外に 追放されることとなる模様で

◆城式毅氏(民政部大臣) 次長)同上内地から

同上奉天から 言野五一郎氏(中央銀行東 京駐在主任)十九日午後十 時大連へ 會社々長)二十日午前九時 愛奉天へ

宣言决議を關係當局へ送附 り農對策、教育改善、財政税(東京颲通)陸軍では豫てよ

大使館當局談

**鬼角の論評を下す** 

大連市民大會開

を押し得るかで 判明するか ら主帰貫徹を押するならば ら主帰貫徹を押するならば **報備會商で各國の主張が通** 

上

額の新規要求に

陸相財源調查

結局は公債支辨による

増税斷行要求ゼず

一比新規要求を財源不足を理由に承認せざる場合は、陸軍由に承認せざる場合は、陸軍 の意向を披瀝しなければなら

交渉の經緯を發表が

本年五月末調査によれば本分

皇軍将兵の活動で

治安確保された北満概况

D 六八、九一五(男女) 一四、八九九

| 漢人は主として、商、工、農 に從事じつつあるが蒙古人は ・農牛臘にして農耕地不良の ため概して狩獵を主とする傾

海瀬洲 を解するもの約三割五分、 字を解するもの約三割五分、

職まして居るが今月上旬桓仁 事件に當局に於ては相當頭を 朝鮮革命軍の遞巡郵便物掠奪

逆宣傳阻

止に

一を闘る手腕に對し各方面は試みて居るので自軍派と云は 首相の手腕注 の不誠意に 事質を 各方面意向 東京國通 華府條約の廢棄 東京國通 華府條約の廢棄 度に憤慨 つきつけ猛省を促す

穏計書犯人を 途中にある に、ソ聯側一流の は、ソ聯側一流の 逮捕せるを、北 道を加へたるが、北 の責任を日滿雨 本が会をして、國民の非友誼的な放送をして、國民の注意を 奥起する狂態振りを發揮して 居るが、ソ聯側は今日迄の幾 居るが、ソ聯側は今日迄の幾 閉議に報告對策を開ずる模様 逆宣傳一笑 聯の國際信義

▲銀塊及爲替 **两外經濟** 

三十八分宝 三十八分宝

ッ聯の國際信義無視は傳統的 といはれ從つて現在の日滿兩 といばれ從つて現在の日滿兩 男十日までに延期した 国業部大臣はさきに林場權の では、 のののでは、 ののでは、 のの だとされてゐる 期間延期林場權審定申請

東京は不愉快だとこぼす の日人

ソ聯の不誠意には隨分参った

ク中央部の指令を受け組織的【ハルビン関通】ハバロフス

要機密書類入りの

郵便袋掠奪さる

東邊道の朝鮮革命軍の仕業

北鐵爆破犯人

國外追放

袋(二百數十通)が永陵街東 数十名により奪はれ全部開封 数十名により奪はれ全部開封 

▲上海日本向

新京市况

九四日00年 新鮮なる高級果實

園農野下城岳熊 衛ヤイメ京新 所 賣 直 京 新 橋町市 店分

先一<u>二</u>二十九雪 月月月月月 限限限股限限 ルービ生

するものであるから、慶乗通は右條約は帝國の伸運を阻害 告を爲すべしと爲すも時機方するものであるから、廢棄通 法等國際情勢上愼重なる

子の指導者

施術ニ從事相當ノ効果ヲアラワシテ居ル一度來タック施術ヲ受ラレ再生ノ幸福ヲ得ラレヨ痼疾難ノ爲メ永年御困リノ方ハ當療法

場所 村本 天 非

電話五六二一番 日本橋通四二

是非お越し下さい!! 新京に唯一軒の その醉心地 世界に誇る 安兵衛

提行為だと出鱈目の宣傳を開 た事に關し、ソ聯側は右は東 京會議が事實上お流れとなっ た今日、日本の北鐵等取の前 た今日、日本の北鐵等取の前

日午前八時三十分餃モスクワゐた北鐵監事マゴン氏は十九

々たる列車頻優事件の犯人と 【ハルビン國典】我官憲が頻

▲埼玉縣滿洲視察團二十名二 十日午後十一時設南行 日午後十一時設南行 日午後十一時設南行 大宿中、二十日午後十時設 財宿中、二十日午後十時設

マ監事急遽歸國

骨染病撲滅を期 檢疫所を軟

高師官制公布

た を設置し且從來省立又は特區 立の師範學校二十校を國家直 を設置し且從來省立又は特區 の基礎を確立して教育制度の の基礎を確立して教育制度の

師範學校は中等

人事往來

◆命紹武氏(哈市税開署長) 十九日午後三時二十五分帝 哈市から を対し中佐(元新京兵站支部 長)十九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分 一九日午後四時三十分

●阪神日米爲替 ▲大阪株式

ルスベ

0

獨逸製

生ピー

N

多奇 值付 お待兼

話增設 新五四八五番

委委任任 六六

私養生と爲すことを は単生の一部又は であるところに依り其

すかね?

どしやつて見るんだ にわが外務省は依然二の足シントン條約の即時廢棄通 

連から、地元新京はどうする在滿機構問題の蜂火はまづ大

# 新京驛頭、<br /> 謝大臣<br /> こ

沛然と襲ひ來つた豪雨 方面の要人で埋められ、瞬頭に降り立つた 大橋代表と 着した、驛頭には謝外交部大臣、沈宮內府大臣を始め 滿日各まゝ歸滿した大橋外交部大長は十九日午後七時半 着列車で歸北鐵讓渡東京會議に於て一年二ヶ月に 頁る苦 闘の後、停頓の

の辭を受けた後宿舍滿洲屋旅館に入つた 生の歡迎を受けた後大和ホテ 之を迎へる謝 た、驛玄闘を出づる頃 の間に交された固い握手は劇的なものが 中に満洲國小學

受話が困難であるが而も受にれに對し滿洲國としてはこれに對し滿洲國としては

市民を代表し

行歡迎の辭

王自治委員長から

の結果を得るに至らずと雖その職責を果されたり所期

こして諒解あるは明かあるは明か

歌迎代表として市自治委員長 歌迎代表として市自治委員長 をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで をコロヤマトホテル玄陽にで

**ズ長一行本日の歸國に際しれ郷譲渉交渉に當れる大橋** 一年二ヶ月の長時日に亘り

右に對し大

橋次長は左の連り

堪へませ

つと根本的なソ聯に誠意も 題は代償價格の點よりもも 弦に至つたのは遺憾だ、問

があつた時にも関

一年二ヶ

大橋次長の

ます、然るにソ聯側は度で 大臣の提案に對し二東三二 として拒絶し誠意のないた として拒絶し誠意のないた

大なる歓迎を受け感激に堪あります、本夕は非常に盛

市民に私の謝意

窓窓を傳へられ

何は

ったいと言つてゐたが、 高さないと言つてゐたが、 であた様だ、そして僕の いてゐた様だ、そして僕の いてゐた様だ、そして僕の 引上げを決して良い結果を 引上げを決して良い結果を

感激の握手 渦巻き 

で今日は交渉を决裂せしむで今日は交渉を決裂せしむの責任はソ聯にある、この るのもまとめるのもソ聯の

意を難詰し

、橋次長語る

無益だから一應引上げる、交渉が决裂ともなればそれは貴方の責任だと最後の釘をさして置いた、それに對をさして置いた、それに對したんだらう、東京は君不したんだらう、東京は君不

小軍學大霧小坂島倉本

機ク超 IJ

械一最

設一新

置グ式

\*\* 事

外職內

交工地

增招優

員聘秀

**春** 座

息如

n

僕はこれ以上東京に居ても

聯の誠意が非常に疑はれる いた中正公平な仲介案はソ

形の圓滿解决を確想し保留 の態にあつた北銀内部機構 の態にあった北銀内部機構 して善處したい 是後に記者が示したモスクワ

うなるか分らない、北鐵交相手の誠意如何によつてど 相手の誠意如何によつてど

してたるソ

ソ聯が交渉中止の責任を満

熱烈なる銃後の

きのふ凱旋の途來京した

**施をみ王道樂土の具現、東** 

に御陵威によるものであり

下將兵の燃えるが如き奉上司の適切なる御指導と

御希望の方に至急左郎へ御來談を乞ふ詳細は面談の上新京目拔の場所下宿營業に最適歸國に付き格守讓り度し

盛であつて誠に感激

と同時に熱烈なる銃後

は社任の途 部で左の如く語つた

字佐美中將語る

後援を感謝

施をみ王道樂土の具現、東大の東京でありましたが、満洲関のでありましたが、満洲関のである。

介紹先

永樂町三丁目十六番

天昌洋行自轉車店

第一等目拔均断

新築大小貨室、

第六小貨室、賄付、4

新築自部屋

(下村〇) 四四(森本 (田中三) 四(安都 (田中四) 三四(安都 (田中四) 三四(安都 (田中四) 三四(安都 (平) 四四(安都

中等野球准决勝 (田県三二一四 (森本

を屠る

戸上の遊匍に 一般上に安打し 一般上に安打し 一般本」無為

て恨を呑む機 「市岡」祷田の遊 井三遊間安打に一點

一十一日より

新京桐ヶ枝町二丁目二年八二十日・

土建金物商會新京支店

畵

\*

解

雇

廣

告

西

男

理想の良人

双龍國絹門子息の老家が輕足る來出の腕

設

內

▷急至◁ 女中數名入用 話 增

**履歴書持多來談あれ** 

主人用帳場用 五五八八九 旅

電話二九四八番 館

7 ニン n

▼西 ▼洗張染物の 洋 洗 新京東五條通十九 電五三七九番へ 濯 ムラン洗染工 店主水守政 ā 11 場

開 店 愈 N 八月廿日より五日間 半 科 u) 其他 割 ふ 51 色

R

三笠カフェー横入ル B ζ 商店

**◇◇◇** マカ鍼 サん 東二條通橋南渡る左付御報大第多上いたします ジま 一陽堂

風を呼ぶか 満露國境を探る

ルの流れ

謝外交部大臣と握手する大橋外交部大長(右)

(五)

長は交渉停頓の爲、十九日午後七時半着列車にて歸任した、

大橋、謝兩氏の固い握手

が代表として奮戦した大橋外交部過去一年余に亘り北鐵護渡交渉に

ソ聯側は之に闘

寫眞は新京驛にて出迎ひ

物々しきソ聯軍備は何を語る?

しその南方を清領、西北のガナ河を以て兩國の境と

シアの東

と等の子孫が多数勢力を占め

水は白蛇の跳躍す

大ビラ河がアムール江に合の霧を衝いて撫遠に進んぞ 来だ晴れ切らぬアムール名型朝午町六時秦得利を拔錨

吹いてゐるル 満洲側はア

てウスリーの支 をない、だがソ をない、だがソ

**玉龍背、蛤蟆** 

のでは、 安東午後三時 本天関通』安奉線の王龍背

大清

指導

氏

無遠から五、 名通江Dに進ん 名通江Dに進ん か流だと言ひ、ツ聯

田警部補が警部に昇進新京署のところ関東應衛生課動務門 元保安係で新京にお馴染み

半着來京した たこの時期は満洲國璽國早れない印象を植えつけられたい印象を植えつけられ て内地へ歸還することとな此度騎兵監を拝命致しまし 満以來一年有余長い期間で 年五月〇〇〇國長と 々で内外共に多事多端な時 五月○○○園長として渡れば昨日の一番では、「大田の土地と別れること、「大田の土地と別れることを、「大田の土地と別れることを、「大田の土地と別れる」 新京署衛生主任に 門田警部來任

間中將は二十日午後四時半嚢 の金(寫眞は同中將) いと望んでゐます



(夕六時半)

ーコレアピムロコ) どを洲溝 附添説解り抑もと面雨

八月二十日 満洲をごり 西公園內大滿蒙新聞社納凉大會場二元 満州をどり 節 大滿洲節 踊講習と實演 のタベ 子



情味に富んだ

財衆に

K

がであると同時に長所であ のて今日をなさしめた大き な原因であらう、而も大衆

名を駐在せしむること」なっ

向くがまゝに出かけて繁務

はあり得ぬものとして居る

移地征稅

なれとしきりにすゝめられなれとしきりにすゝめられなれとしきりにすゝめ道士になれる。

長城各口分闘設置に伴ひ實施

交

(四)

とは人一倍である、氏に接な原因であらう、而も大衆な原因であらう、而も大衆

心抱强い

高橋仁一

洲域政府およひ軍との間に幾電氣事業の今後については滿

氏は東大を出るとすぐ安田銀

行に入つたがこの動機が振つ

懐みと親みである は慈父に接した如き軟かい

名を財在せしむること」なって氏の財在をみたわけである。 氏は斗潤なほ跡せざるの酒豪家で酔へば時に駄洒落をとばし大笑することもある、環頭し大笑することもある、環頭であるが今は好きな談曲をうなってたまにゴルフ、スキー

のどこを見込んで神に仕へ たことがあり僕のやうな者

少しも判らないと今でも苦 る身になれとするめたの

される征税辨法中滿洲土貨の支那移入に際し適用せらるものと観られる、「移地征税辨法」一一九三二年九月二十五 日秦皇島税關制定(鐵路輸送 日秦皇島税關制定(鐵路輸送 前向税並に附加税(從價百分の七、五)を課税し尚添洲土

報無きも外務省に関題に就き左のなってゐる

州國に對し一点

片の通牒も無

に努めてゐる由である

事は國際信義

大使よりは二十

一日未だ何等公

火)

要求額十二億圓中陸海軍費、おれば結局三分の一內外に削減される事は必然である、新規

する人民投票最終の結果は左ットラー首相の總統兼張に關

無勢 東権 二、五三一、三七五 は 監倒的多数を以て確認され は 監倒的多数を以て確認され た 課である

**税法に從へば満洲土貨の** 

の捕りである

金は合計九億圓內外であるか

反對 四二八七、八〇八 赞成 三八二七九、五一四

一体制と爲し外交機關に依り我統治機構の改組を圖り二位

||出 || はない爲め、そないが大体の豫想額は明白でないが大体の豫想額は明白で

Ł

首相の總統兼攝

壓倒的に確認

れず、然ろに此機會に於て

するの識あり、實に吾人は全て日滿兩國の關係に處せんと

連

市

民

緊

急

大

會

頁八共刊夕紙本 發行所 顕軟行 \*\*

金点

板板

相印板

古川商會 こなれた

方事務所の競表が掲載してあり、 大事務所の競表が掲載した場合は深慮なくドンペペ使つてもよいと言ふ地のである。 洗滌をしてくれ

頂き度いもの

海に使つて項き度い事です。 地水を防いでそれを道路の洗 地水を防いでそれを道路の洗 ででででででででででです。

支税闘の共同検査通闘を行ふいる 調査準備中であるが、近く満いの具体的協定を行ふべく目下の具体的協定を行ふべく目下であるが、近く満い場合を関係を行いません。

でく協議さん事を希望して居 のが、滿支税闘の共同通關は 一般の利便並に通關事務の圓

八月十六日より

誌を見る

政治季節を控

審議機關設置注目さる

讀高G聲

◆ずらとは傷中▶
事の記明所住名氏

中だけに行をかいた の洗浄をやつて頂 ますけれども、そ

せん、窓を開けられる。 でやつてるがながれ

す。それから いと思はれます

力を注いだ結果、日に何百噸 と此の無駄な洩水の防止に全

たそうです、實際上から見て れ去る水量と言ふものは決し れまる水量と言ふものは決し

「東京國通」 岡田首相は十大 大綱具体化のため内閣内に國 策審議時間の設置を希望して 居たが閣内の空氣も積極化し 一部閣僚は組閣後大体の 一部閣僚は組閣後大体の 一部閣僚は組閣後大体の で政治季節に 入ると同時に急展開と覗られ て居る右機闘の必要が常識化 で居る右機闘の必要が常識化 されるが岡田首相としては無る陣容を持たしめるかは注目

日午前九時より市政公署に於て左記の如く行はれる、今回 は特に新任委員長片岡中佐の は特別治安維持會は來る二十九

事務

打合せ

全滿稅關長會議開催

司會によ

一、足間散在武器の整理一、足間散在武器の整理一、足間散在武器の整理

康總元年度歳出入豫算執行に 原語する体並に税關予設の事務 開する協議事項及税關行政上 原語する協議事項及税關行政上 原語を必要とする事項に 原語を必要とする事項に の計間事項等に直る全

七月以降西部特別治安維

其他に就き協議する筈

**帯税關長會議は廿** 

列席開催、

當り石の設置を考慮したこ 條太郎氏と貴族院關係工作 太郎氏を首班とせる右の設置犬養内閣末期にあつて山本條 任所大臣設置に代る審議機關

無き場合には常時の組織と機關も町田、後藤の特別反

する可能性が多い、設置に就 直属一古る電要國策を 同時刻に同様南方泉溝方面に 時列車で現場に急行した、又四平省警察段より○○名が臨 も約三十の匪賊が來襲したと 双接歐出動、 尚逆襲の虚れあり

ては貴衆廟院樞府關係等を考 では貴衆廟院樞府關係等を考 施履本氏夫人逝去

内地へ凱旋

接し即日赴連に決した をし即日赴連に決した (23 事業として、特別 市公署が南嶺に救 所は、 を設け、これ

山路中佐

清

さくら奈良漬 商



# 二三九 話五

# 來、掠奪を開始したが直ちに 様平安堡驛に數十名の匪賊襲 様平安堡驛に數十名の匪賊襲 ルに於て開催した 露披御店開

平齊線平安堡に

匪賊來襲

お安く正價主義にて!!

機構改組で専ら外交機關に 依存は絕對不 絕對反對 || 十二美人|| に堕して居る結 財務電局として各省一段の協 財務電局として各省一段の協 治維會 第二回西部特別

即時移管

は

日一十二月八年九和昭

ちに滿洲國に移管せんとす一、滿鐵附屬地の行政權を直對反對す 關に依存せんとするには絕の改組に際して專ら外交機 【ハイラル國通】第二回西部 廿九日開催

支那向

满洲

山海關稅關同樣無

税ご觀測

財政部

見解

|働主催の在滿行政機構改革| 大連討論機關有

民大會

を窮地に陷れしむるものに外 かとして日滿兩國の親善と提 物とを期せんとせば、これ即 ち在滿邦人をして信頼すべき 行政組織を失はしむるところ

密の関係を確保し以て日満議 する軍務と一般行政機構と相 使つて其の統制を為すはけだ し刻下の急務なりとす、右宣 言す

午後六時より大連劇場

下に政務總長を置き以て行三、我行政機構は駐滿全權の るには反對す 備を要望す

大藏當局各省へ協力を要望 すべき征税辨法の公布は各方當つての各口分關に於て適用 今回支那政府が長城線設闘に るものとして異常なる の一項は、

> 那海關の山海關設置を見る 解决好轉により本年六月支接關通車、通郵等の賭問題

其後滿支間の北支問題並にを課する事となつて居るが

したる貨物にして

共同檢査のため、場で、馬毛、羊毛、路駝野

としてたの如

ものは暫行的に

通關事務打

合せを行ふ

羅子、西瓜種

日

宣

減洲國建國されて三年、<br />

國內

航空際充實費等が何れも九月が、満洲件費、北海道拓強費が、満洲件費、北海道拓強費

**酸し附屬地行政権を還付する 改着々改善して獨立の基礎全 は平定し治安は維持され、諸** 

ず長等改革問題につき熱辯を村田滿日社長、法性大連新聞市長、高田會頭、長永曹記長村田満日社長、法性大連新聞

合的國策を忘れ

豫算分取りに墮す

振つた

行政を確立し満洲國と切實緊若しそれこの機會に於て文治

₹

滿洲に於ける我統治機構

ざるところなりとす

にして断じて吾人の忍ぶ能は

瀬州國財政 常局では左 動を與へて居るが、 月廿五日附を以て支那案皇洲國山海關稅關設置直後同 所謂『東三省產品現行稅法』 右に就き 通關を續行しつゝあり、尙超別な適用しつゝも今日同稅法を適用しつゝも今日に至つたが同稅關に於ては 且つ轉口税は海路輸移入に 脆を見るが如き事なく、

加税(從價百分の七、五一1 那移人に對し轉口税並に附 制定 一九た「移地征 勝税闘同様無税通關を行ふ 満洲國土貨に對しては山海 **那輸出を阻害するが如き** 者間に於て外部に 日々ス通信社を 日々ス通信社を

譲渡價格まで暴露

ス通信で

酷暑の時、到るところに満人社會事業の一つだ▼酷寒の折

の行倒れ姿を見るなどは、

新京八島通り四〇番地

この事業のお蔭とい

送り出さうといふ計劃は、けて完全な人間として言會

治療全快の上は漸次職を

ドー酒

屋

に中毒者を収容

口分關設置に伴ひ滿支相互の満州國財政部では支那長城各

に就ても詳細酸 職を開始したが 右に関し大田の宣傳 交渉停頓に ては去る三月五日廣田外相る一切の價格條件等に關しる一切の價格條件等に關して質相判明文第嚴單に抗議

益々募るソ聯邦側の狂態 外務省對策を考究 は百世豪の受信機があつて類 に努力中である、 尙外蒙古に に努力中である、 尙外蒙古に かに受信してゐるとの情報にモスクワよりの赤い放送を秘 約百州豪の受信機を据へつけてハビン図通』北滿各地に 北隣ラヂオ赤化 滿洲國當局 の眼光る つてよい▼尤も今頃は氣候もさまで悪くはなく、行倒れ姿を見るのも尠いわけだが、市 政公署の計畫ではこう が、今頃はそうした行倒れるしての大きな恥辱でもあつた 後の成績は至つてよ

後の成績は至つてよいやうで没者は見つけ次第こゝに收容にまた時折り警察の手で乞食とまた時折り警察の手で乞食 ある▼安東からの情報による

浸水家屋は殆ど

| 一、外線建設 屋内用電話機 | 一、電話交換機 一、電話機 一、電話用器具、機械、材 | 一、電話交換機 一、電話機 一、電話用器具、機械、材 | 一、外線建設 屋内用電話機 | 一、電話用器具、機械、材 | 一、外線建設 屋内用電話機

新京電話工業株式會社

行入りをしたといふのである 大正十五年望まれて安田を背 最とする正隆銀行の大連本店 で轉じ、昭和四年には經濟調 年無順支店長に榮轉、更に七 年無順支店長に榮轉、更に七 いといふので三人が揃つて銀ろ三名ともきれいな仕事がよ 文那財政部長 記を見るに至らず孔財政部長 定を見るに至らず孔財政部長 銀流失い 上七年以下の成刑或は罰金には取政す鵬急手段として銀貨

金融恐慌來を憂慮 よる

> 橋外交部次長 北鐵交渉の經過報告

歓迎宴開く

昨日の國務院會議で 度交渉に奔命し、十九日午」直り東京に於ける滿ツ北鐵

東長は世日午前十時より図 教院に開催された関務院會議 に出席し、過去一年二ヶ月に に出席し、過去一年二ヶ月に

七町老松町

日日 氣 天 入出 淵 氣 晴西の風

い程温しい性質でいわゆる 銀行員タイプによくあては まつた人である、旅行が好 きで學生時代には日本本土 は勿論樺太、北海道、九州 を完全に一周し今でも暇さ

こも出さな

頭腦明晰 行員型にはまつ 伊藤般三氏

正陸銀行新京支店長伊藤般三の明晰な人で新京の金融界で出た非常に頭腦で大正十三年に東

高所を退職して瓦房店電燈株式會社、大石橋電燈株式會社、大石橋電燈を開設株式會社を観察して昭和三年の十二月 現職に英進した人で鴻鍛入社 以来途中少しの曲折なく全く 同風に帆をあげたかの如き形で今日に至つた幸運見である。 て氏る形く

氣作業所に轉じたが間もな

頭事務所貨物課長建選課長を 常務取締役高橋仁一氏は山形 常務取締役高橋仁一氏は山形 解米澤市の機栗家に生れ明治 平葉して直ちに満載に入り埠 本葉して直ちに満載に入り埠

灰色

界を征

服

門片中毒者の勞働奉仕

ムへ收容して治療を 能力をあげてゐるそうだ、照一りつける日はその能力もグッ 新京救濟院を訪ふ

治つた患者を國都建設に使役受ければ治るそうだ、これら 今大同大街南嶺廣場から新京 上つて、

てゐる、 たら社會へ戒煙所勞働者と になつてゐる、 後五時半まで ツルヘシ 彼等は 毎日朝の 八時 の道路建設に成功し 更生への道に 彼等が再ひ 打ち下

立つてゐる、黒煉瓦の低い建 物が六棟並んでゐる、阿片の 中霧者を收容する新京戒煙所 はこの中にある、現在四十三 名の中毒患者の中大部分は六 い野つ原を三キロも行つたと○陰から西南へ折れて道もな新京の郊外、南嶺街道を○○ ころにポッソと新京救済院

新

が、二十日午後一時三十分かは一般注視の的となつてゐた

婦人會としての最後の幹事會

吉澤幹事長を始め濱川、

一大の容改正され新京婦人園体聯出してゐる、服はキーにある各婦人園体の連絡提携を圖「大」の字を頂き中ににある各婦人園体の連絡提携を圖「大」の字を頂き中に関委員長が同聯盟を代表し役員には委員長の他に常任委員を開発し役者を表手名が置かれ役員の任本本著于名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本本書下名が置かれ役員の任本書に表している。

台灣から遙々

満洲國へ走破

つ西山司長を訪問、種々滿洲の事情を聴取し、同世分交離會に出席した、交聴會は先づ時普通教育科長より間會の辭私達の滿洲國は韓國以來色々お國の御援助を給はり段々な國になり、兩國の間柄

りましたら三重縣兒童十萬と共にこの有様を日本に歸と共にこの有様を日本に歸ます、貴國の目覺し、發展

大自然は効果的

に登廳した所長は所長室で語

#

11

間療

往宅

診診

午前十時……午後

但シ急寒に此限り:アラス午後二時ョリ

元氣回復

荒木地事所長歸る

能美透君本社來訪

量り 圓型で上部に大日本の 出してゐる、服はキャー

どの内容を充實する の備品の過不足、

で で で で 和やかに開催された午 前十一時文教部を訪れた一行 は嘲長三井氏に引率せられ先 で の で 和やかに開催された午

全市

服はキャラコで

備デー中に客車輕油動車など

福田その他

ら新京与等女學校の

の顧問評議員の立會者あり、上原、野村、光岡その他七名

一村、上原、光岡・長から開會の挨

づれ近く推薦されるはず期は一ヶ年とされてゐるが

もに非常時は更

制服着荷

司、下闕を経て朝鮮釜山に上って、下闕を経て朝鮮釜山に上った。とは台灣一周から門とお、江東では、江東のは台灣一周から門となる。こ月十日陸軍記念日に合いた。

を訪れた同君はユニホーム委が を訪れた同君はユニホーム委が を訪れた同君はユニホーム委が を訪れた同君はユニホーム委が を訪れた同君はユニホーム委が をいる。本社

今日一堂

京地方事務所長は目下滿鍛本本人は何知らぬ額して三十六 日目の二十日午前七時"京漕 急行で歸京した一ヶ月前には 急行で歸京した一ヶ月前には

がは、他には新京が最も適 がま中変のある處は他にな がまでは何もしら がある。 が多くて がある。 がある。 は他にな

二三02 三三06 五00 五00 七10

が別に何もありやあしない本社には一寸顔出しはした

總でを忘れて大自然にひた

した、お陰でご覧の通り色長々留守してお世話さまで

お陰でご覽の通り色

本洋行賣出

朝鮮一周ののち大連、旅

ましに固ふする関防婦人會のと記した黄色の裸に雄々しいと記した黄色の裸に雄々しい

十分新京に曽同朝直ちに本社 戦績を經て二十日午前零時三順、金州、遼陽、奉天、撫順、

関下に面會したとき、関下には汽車も飛行機もある、

浴場で靜養中で

日以來夏

幹事二十二名と上

?等々議論百出してその合婦人會の解散?合流?

出してその成

**本年六月國防婦人會寬城子** 

改めて新京婦人関体聯盟と

告したが同時に新規更生の意

十月に在長春各婦人は帝國の非常時を認人は帝國の非常時を認めに銃後の護りを

たかくて新規約案の朗護ありたかくて新規約案の朗護ありた、なほ當日は兵士ホームの經営改善に就いてもないでもの。 ころ時間の都

であるのが大和撫子の花で出 に後千三百を内地へら注文す

頃着

二十五日開催の豫定であつた 満鐵々道部主催の旅客事務打 合會は都合により來る三十日 三十一日の兩日に變更した、 なほ同會では旅客サービス策 の議題が多々持出されるもの

現在安東附屬地には井戸が七

全國中等野球

吳港遂に優勝

一番對零

熊本敗る

【安東國通】兩水源池の被害

給水は一日半分

しく右取政ず御見舞申上ぐ市民各位にも貴職よりよろ市民各位にも貴職よりよろ

を利用して鮮滿人の補つてゐる、尙當局

てゐる、 て水を運ひ辛じ

れ非常警戒を爲

初京城内支部の競會をみる

の榮ある新京

顔觸れ

は近く決定

から三十日まで十日間列車偏新京鐵道事務所では二十一日

日滿親善三電縣學童使節を迎

(一六)は立つて

再ひ大事に

又鴨綠江の水位 現在迄の所何等

代取にて開始、兩軍好守好投 り天知(珠)横澤、森田、池 田(壘)四氏審判の下に熊本 田(壘)四氏審判の下に熊本

滿銀大勝

|專科児小

對正隆戰に

銀行團リーグ戰

奥港五回二點をあげ**遂**に二A

のふ文教部で和

K 倉君

備デ

車備品整

學童使節を迎

IB

新京婦**-**

、團体聯盟と改稱

**大滿洲國官民の方々へ宜し** 

旅客事務打合

書を蒙つた、一方水源池决潰 物が近には安東製材會社々宅が 明約五百の多国に上つた、尚 明約五百の多国に上つた、尚 が近には安東製材會社々宅が 多数あつたが何れも甚大の損

ソン使節

る考へです、貴紙を通じて 地方への方々にお土産とす どしどし發展されるやう もりです、今後は大滿洲へて一日も早く合潤へ歸るつ

大に催される大校友會員の一行歡迎會が盛大校友會員の一行歡迎會が盛

潰すると同時

陽者と日 に大部分押流さ 時に大部分押流さ

見舞電

荒木所長から

れ多数の死傷者を出したが、

校友の歡迎會

に決まる

るべく文明の機關を利用してきました、これからはな

ルインは午前十時頃となつた た、從つて新京に晴れのゴー

分で最も被害

の大きい區域は

今回の水害は

鴨綠江の増水よ

がら水地獄の惨澹たる光景でやう無く見殺しの惨狀はさな

に依る安東水害詳報左の如所二十日午前十一時半濟電所二十日午前十一時半濟電

をも覺へず救援除も手の下し 数ひを求める離は此世のもの がないを求めるかは、 を取ります。 をも見べず数接除も手の下し

これからはな

史に新飛躍を期か

8 - + =

マ、大抵は一 普通の苦力の牛分以上は充分 現在四十三 がある土を盛つたモッコを擔 現在四十三 がある土を盛つたモッコを擔 で中 だ、それでも國都建設局土木 で、それでも國都建設局土木 ら汗まみれな努力を

中中毒者の國都建設に献げ、とする努力が酬ひられて、とする努力が酬ひられて、

第騎主任は語る

勢力は無償で戒煙所の方か

ち供給されてゐます、何し

ろ今まで廢入同様な人達だ
つたのですから普通の苦力
と同じやうな能率をあげる
といふ譯には行きませんが
それでも充分半分以上は働きます、この工事が成功すれば市中に勢力供給をする
そうですが、折角成功を願
つてゐます、皆んな熱心で

と下つて仕事が出來なくなる 者が出るといふ、更生への道 は彼等にとつてもまた天の道

駕崎主任は語る

直轄として開設されたばかり 恵者の生活を覗く の建物二棟を借り受けて阿片で救済院(孤見院と臺老院) 藥濟部の松本主任の案内で

る、こゝには未だ入所したばを更生して世へ送り出してゐ る者、座つたまゝうつらうつ死んだ様になつて眠込んでゐかりの者がごろごろしてゐる ゐるが旣に八十 運動時間のほかは彼等はころ ら白中の夢を追つてゐる者、 引所と同じだ、毎日一時間の 交點附近に檢疫所を設け防疫 員二名その他四名を駐在せし めて農安方面から新京に入る もの、身体檢査を行つてゐる がいまのところ十一月ごろま 溺死者一

買つてやり度いと思つてる

ショリと着物を濡らしてゐるとした野原に道を拓いてゆくとした野原に道を拓いてゆく 被等の額から玉のやうな汗が 地面にひつきりなしに落ちて ある、背中に通つた汗がビッ

無電台北方北鐵と農安街道交 るためさる十六日から寬城子 るためさる十六日から寬城子 るためさる十六日から寛城子

安方面から入り込む 來京者に身体檢查 豫防陣

善メタル、兄童の作文が贈呈 と元氣な口調で日滿親善を强 、代つて學童使節より新京 に流汗のは、日滿親一 は勿論全日 皆様の御心を傳へ

滿兒童交驩會を了へた

窯が爆發

百餘名死傷

開

立の程御願申上げますとましたから御下命次第敏速に派遣致し御用命に應じます何卒御引しましたから御下命次第敏速に派遣致し御用命に應じます何卒御引から軽弊會にて多败の經驗ある附添婦及家政婦打揃つて左記に開業致

(看護、附添、家政婦、多忙に付至急募集)

新京日本橋通り二四

酸婦城川派遣婦會

電話五七二八番

戰死者遺族慰問 島本聯隊長

大營の戦闘に参加、武勇を轟時率天獨立守備隊長として北

前九時宮城前出設して以來路」。京間二千哩走破大マラソンの「京間二千哩走破大マラソンの「整人へ滿洲の大陸的炎熱にも疲」を入る。 日本

在的歌迎裡に十九日午後零時で10分元氣旺盛多数官民學生熟

午後二時勇躍新京へ出發したの發隆で萬歳三唱記念撮影後の弦隆で萬歳三唱記念撮影後の弦と、山本校長歓迎挨拶購長

7

ラ

ン使節

四

平

業

る人畜の被害は多数に上る見る人畜の被害は多数に上る見込みで當局は目下鋭意調査中であるが、玆に最も悲惨なのは安東 業四社工人の滿人從東員は女子供を救ふ爲鑑の上派乗せ救助船を待つてゐる所へ水源地のダム央潰し白熱せ

の爲め死者七十名重傷三十餘し女子供等は熱湯を浴ひ火傷

其他

二木

新京から 瀘水機を急送

でも構內外の馬車自動車の出入が容易でありますの御便宜を計りますから精々御利用顯上ます尙此の專用線は鐵道北石疊道路に面し雨天の御便宜を計りますから精々御利用顯上ます尙此の專用線は鐵道北石疊道路に面し雨天今回運送部開設に伴ひ弊計專用線で土木建築材料並に一般資物の積卸保管を引受け各位

新京住吉町四丁目四番地

洲製油珠會社

運送部電話 二六〇七番

積卸並に保管に應す

市中の奔流を見乍ら飲料水缺一で石井式瀘水機一臺を廿日朝 七時酸列車で急送した

高都警察廳では警察行政の の道街大經路口に四遠街警察 の道街大經路口に四遠街警察 の道街大經路口に四遠街警察 四道街警察署 けふ落成式

ミ良優

目科業營

川土粗花

砂地石材

販開碎

賣拓石賣

崗

石

採

堀及

加

上 販 百名

行方不明五百に上る

安東水害その後の調査=

の所給水全く不能、己むなく の所給水全く不能、己むなく なに必死の努力中なるも現在 では、必死の努力中なるも現在 の所給水金く不能、己むなく 式を擧行する事となつた

滿洲

花崗

石材合資會社

御鐵建

推路設

獎局局

事務所京圖線土們嶺驛

本

一社 新京祝町三丁目一七番地

●石山埋藏量六三○○萬才●

石

山 永吉縣第三區大頂子

屯 前

田半分を餘すのみ 施し居るも目下の貯水は約一 三四個の井戸にて應急給水を

安東市民に

院本新京地方事務所長に對し左 の水災見舞電を撥した

オリエンタルフィルム・フィルム(ト 寫眞機材料專門

會強木村洋行支店 奉天、支店大道、ハルピン、奉天城内率天、支店大道、ハルピン、奉天城内率、支店大道、ハルピン、奉天城内

商業 曜、祭日二十 祭日二十後休診學校正門前 倉殿酉 五二四三番

れまほ



二五五話電

ほまれ壽

新京三笠町二丁目九